

## 第5学年 図画工作科学習指導案

～心に感じたことを～「コスモスを見つめながら」

## 指導観

○ 本題材は，コスモスの観察をもとに想像を広げ，画面づくりを考えながら，絵に表すことをねらいとしている。

本題材を子どもたちが取り組む上では，次のような価値があると考えられる。

- ① 児童が育てたコスモスを題材にしているので，児童が十分に想像を広げられるものである。
  - ② コスモスの観察をもとにしながら，心に思いうかんだことや想像を広げたことを表すことで，自分の表現をつくり出す造形活動の楽しさを味わうことができる。
  - ③ 線描材を選択したり，水彩絵の具やその他の描画材を組み合わせたりして表現の多様性を楽しむことができる。
  - ④ コスモスの観察をもとにして想像を広げながら表現しているため様々な作品ができ，それらを鑑賞することにより，自分なりの感じ方や見方を深めることができる。
- 本学級の児童は，1学期に絵や立体に表す題材で「心に感じたことを（運動会）」に取り組んでいる。また，様々な線描材で季節の植物を描き，それに詩を付け加え作品を仕上げている。

図画工作科についての実態調査では，88%の児童が図画工作科が好きと答えている。

分析的に集中して描く力があり，形をとらえることはできつつあるものの，観察にとどまっている実態がある。そこで，線描きや色へのこだわりを一層広げていくことで，自分の思いにより近づけていくことができるのではないかと考える。自分の思いに近づけるための画面づくりや線描きなどの発想や構想の力をつけることにより，自分の思いに合った表現活動に取り組めるのではないかと考える。

- 本題材の指導と評価にあたっては，まず，コスモスの形や色の特徴をとらえるためにメモスケッチをさせたい。そのメモスケッチをもとに画面づくりを考え，背景の表し方を工夫し，合成したり，再構成したりしながら線描を進めさせていきたい。また，線描材については，ペン，筆，鉛筆などの中から自分の思いに合った線描材を選択し，様々な線描材から生まれる線の美しさや面白さを味わわせたい。

次に，彩色する活動では，自分の思いを表せるように，表現方法や描画材についての資料を提示しておき，自分の思いに沿って選んだり組み合わせたりしながら表現活動に取り組めるように場の工夫をしていく。

最後に，自分の作品を紹介したり，友達作品を鑑賞したりする交流の場を設定し，表現方法の違いによるよさや友だちの表現のよさを味わうことができるようにする。

評価については，まず，指導事項を整理し，指導内容を具体化し評価規準を設定し，各活動の目標を設定していきたい。そして，児童が自分の思いに沿った活動ができるように，児童のつぶやきや作品，ふり返りカードなどを見取り，次の活動へとつなげていきたい。

## 目標

- コスモスの形や色の美しさに関心をもち，その美しさを感じ，楽しもうとする。  
(造形への関心・意欲・態度)
- 自分の思いが伝わるようにコスモスの画面づくりをしたり，想像を広げながらその背景の画面づくりをすることができる。  
(発想や構想の能力)
- コスモスの様子や自分の思いが表れるように描画材や水彩絵の具などをその特性を生かして活用し，自分の思いに合わせた表し方を工夫して表す。  
(創造的な技能)
- できあがった作品を見合ったり，語り合ったりして，自分や友だちの表し方のよさを感じ，伝え合う。  
(鑑賞の能力)

## ～心に感じたことを～「コスモスを見つめながら」の指導事項

A表現(2) 表したいことを絵や立体に表現したり, 工作に表したりする	
学習指導要領における指導事項	教科書による指導事項の明確化
<p>ア 表したいことを表すために, 形や色, 材料の特徴や構成の美しさなどの感じ, つくるものの用途などを考えるとともに, 表し方を構想し計画して, 創造的な技能などを生かして表現すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見たこと, 感じたこと, 想像したこと, 伝え合いたいことから表したいことを見つける。</li> <li>・自分の表したことを見つけ, それをもとに一人ひとりのよさや可能性を発揮する表現活動をする。</li> <li>・自在に発想し, 画用紙や材料, 用具なども自分で選べるようにすること。</li> <li>・表現の手がかりになることを提案したり, 児童が発想したことをもとにいくつかの表し方を取り上げたりして支援する。</li> <li>・形や色, 材料の特徴や構成の美しさや面白さを楽しく考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何気ない日常生活の中で心に刻まれたことを絵などに表す。(主題)</li> <li>・再現的に見たそのものを表したり, 自分の印象に残ったものを強調したり, まわりのものを省略したりして表現する。(構想)</li> <li>・思い切った画面の構成や配色など個性的な表現に取り組む姿勢を育てる。(表現方法)</li> <li>・見たとおり, そのまま再現する絵もあるが, 自分の心に残ったことを整理し, 画面上で思いがよく伝わるよう再構成したり, 風景から感じたことを背景に表現している。(構想)</li> <li>・画用紙にスケッチをもとに, 自分の思いが伝わるように画面づくりをする。(構想)</li> <li>・「ゆうだいな景色, 風が気持ちよかった」では, 自分自身を背後から見たような視点で描き, 向こう側の雄大な景色の広がりから, 心の広がりを表現している。(構想)</li> </ul>
<p>イ 表したいことに合わせて, 前学年までに経験した材料や用具, 自分が選んだ材料, 糸のこぎりなどの特徴を生かして使い, 表現に適した方法などを組み合わせながら, 絵や立体に表現したり, 工作に表したりすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前学年までに経験した材料や用具に加えて, 自分が選んだ材料。</li> <li>・初めて使う用具については, 使うこと自体を楽しむようにするとともに, 使うことによつてできた材料や形などの面白さから発想を広げるようにする。</li> <li>・前学年までに経験した用具については, その扱い方に慣れるようにするとともに, 簡単な手入れをしたり, それらを大切にしたりする習慣が身に付くようにする。</li> <li>・これまでに経験した表現方法や材料の生かし方などを組み合わせ, 新たな方法を考えるなどしながら表現する。</li> <li>・児童の想像力を働かせ, 一人一人の描く対象の見方や表し方が生かされるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の表現に合った描画材を選んだり, 線描材を組み合わせていたりしている。(材料・用具)</li> <li>・自分が表したいものを水彩絵の具の筆づかいを生かし, 工夫して表している。(表現方法)</li> <li>・「学校に通う道 みんな楽しそうに歩いている」では, 赤, 黄, 青など色とりどりのタイルで通る人や車の様子も躍動的に表している。(表現方法)</li> <li>・近くは濃く, 遠くは薄く彩色し, 遠近感を表している。(表現方法)</li> <li>・補色の関係による彩色。(表現方法)</li> <li>・「みんなで何かするのが好き」等, サインペンで細かいところまで描き, 絵の具や筆の使い方を工夫して心に残った様子を表現している。(表現方法)</li> <li>・「雄大な景色 風が気持ちよかった」等では, 筆の使い方を点塗り, 線塗りなどのちがいによる表し方の工夫をする。(表現方法)</li> <li>・「みんなで何かするのが好き」では, 色画用紙の色を生かし, 効果的に彩色している。(表現方法)</li> </ul>

## 指導と評価の計画(全8時間)

造形への関心・意欲・態度(関), 発想や構想の能力(発), 創造的な技能(創), 鑑賞の能力(鑑)

	児童の活動	評価規準	学習活動における具体的評価規準	指導
コス	○ コスモスの花をよく観察してメモスケッチする。	(関) コスモスの花をいろいろな角度から観察しメモスケッチをしている。	・図工ノートに色や形など絵や言葉で詳しくメモしている。	・世話をしている時の感想などを書き, コスモスへの思いをふくらませる。(事前) ・コスモスを見たり触つ

モ ス と 出 合 い 想 像 を 広 げ る 活 動	○ メモスケッチをもとに画面づくりをし、自分の思いに合った線描材を選び、線描きをする。 ・コスモスの様子がよく表れるような画面づくりをする。 (本時 2/3) ・想像を広げながら背景の表し方を決め、自分の思いが表れるような画面づくりを (3時間)	(発) コスモスの花びらの重なりや可憐さ、自分の思いがより表れるように、画面づくりをしている。 (創) 自分の思いに合わせて線描材を選択し線描きしている。	・メモスケッチをもとにコスモスの画面づくりをしている。 ・自分の表したい思いが表せるように、背景の表し方を選択している。 ・自分の思いやコスモスの様子に合わせて、線描材を選択して線描きしている。 ・友達の作品から表し方のよさを見つけている。	たりして確かめ、メモスケッチするよう活動提案する。 ・「画面の縦，横」「数，向き」「大きさや重なりによる遠近感」について画面の構成のヒント資料を提示する。 ・背景の表し方について参考作品を提示する。 ・線描材についての資料を掲示しておく。 ・線描材を試しながら表現できるよう，試しの場を設定する。
彩 色 す る 活 動	○ コスモスの様子や自分の思いがよく表れるように色づくりや筆の使い方等を試しながら彩色する。 ○ 作品を交流し、表し方のよさを見つけ自分の表現に生かす。 (4時間)	(関) 自分の表したい思いに近づくように表し方を考えて意欲的に取り組んでいる。 (創) 表現の意図や思いに合わせて、彩色の仕方を工夫している。	・コスモスの様子がよく表れるよう，色づくりや筆の使い方等を工夫して彩色している。 ・友達の作品から表し方のよさを見つけている。	・水彩絵の具の用具の扱い方や彩色，混色や重色の工夫，筆のタッチによる表現のちがいを等資料提示する。 ・友達のよさを自分の作品に生かした児童を紹介する。
鑑 賞 す る 活 動	○ 表したかったことなどを作品紹介カードに書く。 ○ お互いの作品を見ながら表現のよさや違いを交流する。 (1時間)	(鑑) 自分の作品の工夫を話したり，友達の作品の工夫を聞いたりして，自分の感じ方や見方を深めている。	・自分の表したかったことと表現の工夫を関連させて紹介したり，友達の表現のよさを感じ取ったりしている。	・自分の作品のよさを説明できるように作品紹介カードを準備する。 ・友達の作品のよさを書くための鑑賞カードを準備する。

## 本時目標

- コスモスのメモスケッチをもとに，自分の思いがよく表れるように楽しんで取り組もうとしている。  
(造形への関心・意欲・態度)
- メモスケッチをもとに，自分の表したい思いがよく伝わるようにコスモスの表し方を工夫して画面づくりをすることができる。  
(発想や構想の能力)
- 自分が表したいコスモスに合う線描材を選び，線描きをすることができる。  
(創造的な技能)
- 自分や友だちの作品を見て，コスモスの画面づくりの違いやよさに気づくことができる。  
(鑑賞の能力)

## 準備

- 4 B 鉛筆      ○ ペン      ○ 筆      ○ 墨      ○ 画用紙      ○ 図工ノート
- 画面づくりのヒント資料      ○ 線描材の資料

### 本時の指導と評価の考え方

本時は、コスモスのメモスケッチをもとに自分の思いや想像を広げながら、コスモスや背景の画面づくりをし、線描きをする活動である。

本時の指導にあたっては、まずはじめに、前時までの学習を想起し、画面づくりのヒント資料について話し合う活動を行う。「地平線の入れ方」「並び方、動き」「大きさや重なりによる遠近感」についての資料を提示し、自分の思いに合った画面づくりのためのヒントとする。前時までに描きためておいたコスモスの色や形などを詳しくメモスケッチをもとに合成したり、省略したり、再構成したりしてコスモスの画面づくりをしていく。活動が停滞している児童には、実際にコスモスを見たり、触ったりして画面づくりを進めていくよう活動提案する。

次に、コスモスの画面づくりができた児童は、自分の思いに合った線描材を選び、線描きをしていく。ペン、筆、鉛筆などの線描材の中から自分の表したコスモスに合った線描材を選択させたい。線描材の効果を試しながら線描きができるように線描材の資料を掲示し、試すことができる場を設定する。一人ひとりが様々な線描材を選択し、線描きをすることから生まれるの美しさや面白さを味わわせたい。

最後に、自分や友だちの見方や表し方のよさを見つけたり、ふり返りカードで本時の自分の活動をふり返ったりして自己評価し、次時の活動に生かしていく。

本時の評価にあたっては、画面づくりなどを記した図工ノートやふり返りカード、児童の作品や活動などからの行動観察などの見取り、評価補助簿を活用した評価を行っていく。また、児童の表したい思いやヒント資料の有効性を見取り、次時の指導へとつなげるようにしていきたい。

### 本時の指導と評価

学習活動と内容	学習活動における具体的評価規準	指導（活動提案・材料提供など）
1. 前時の学習を想起し、コスモスの画面づくりの資料を見て、印象の違いについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ絵なのに遠くに道が続いているように見えるよ。</li> <li>・重なったり、向きが違っているとコスモスの感じが出るね。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な視点から撮ったコスモスの写真やコスモスへの思いを綴った作文などを掲示し、表現意欲を喚起する。</li> <li>・学習プリントや対話から一人ひとりの表したいことを予め把握しておく。</li> <li>・画面づくりのヒント資料を提示し、画面づくりをする過程での支援とする。</li> </ul>
2. 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             自分の表したいコスモスの様子がよく表れるように線描きをしよう。           </div>	(発) ○ コスモスの花びらの重なりや可憐さ、自分の思いがより表れるように、画面づくりをしている。	
3. メモスケッチをもとにコスモスの画面づくりをし、線描きする。 <p>(1)メモスケッチをもとにコスモスの画面づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスモスを重ねて描くと満開の様子が表せそうだな。</li> <li>・手前のコスモスを大きく描いて遠近感を出そう。</li> </ul> <p>(2)自分の思いに合った線描材を選び、線描材の特性を生かしながら線描きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスモスの可憐さを表すに</li> </ul>	・資料を活用しながらコスモスの様子が表れるような画面づくりをしている。 ・合成したり再構成したりして画面づくりをしている。 ・背景の表し方を考えながら画面づくりをしている。 (創) ○ 表したいコスモスの様子に合わせて、線描材を選択し線描きしている。 ・遠近感が感じられるように線描材を組み合わせ、線描きをして	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動が停滞している児童には、実際にコスモスを見たり触ったりして確かめ、画面づくりをするよう活動提案する。</li> <li>・メモスケッチをもとにコスモスを合成したり再構成したりして画面づくりをしている児童のよさを紹介する。</li> <li>・線描材の資料を掲示しておき、自由に確かめられる試しの場の設定。</li> </ul>

<p>は筆の方がいいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペンや鉛筆を組み合わせる表そうかな。</li> </ul>	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料や試しの場合を活用して自分の思いに合った線描材を選ぶことができる。</li> <li>自分なりの表現を見つけながら描くことができる。</li> </ul>	
<p>4. 本時学習をふり返り, 次時の学習を知る。</p> <p>(1) 図工ノートに自己評価する。</p> <p>(2) 次時の学習は背景の画面づくりをしていくことを知る。</p>	<p>(鑑)</p> <p>○ 友達の作品からコスモスの様子がよく表れるような表し方のよさを見つけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の活動をふり返ることができた児童には, 友だちコスモスの表し方のよさに目を向け, 自分の作品に生かすように助言する。</li> <li>学習をふり返り, 学習プリントにて, 画面づくりのヒント資料の有効性を見取る。</li> </ul>